

「北方領土返還要求中央アピール行動アピール行進」出発式における
山田外務大臣政務官挨拶文

本日御参集いただいている皆様におかれましては、日頃から北方四島の返還に向けた環境整備、国民世論の啓発と結集のため、様々な活動に御尽力いただき、心から感謝申し上げます。

本日は、第二次世界大戦終結後、当時の安藤石典（あんどう いしすけ）根室町長がマッカーサー元帥に対し北方領土返還を求める陳情を行ってから70年目という節目に当たります。我が国固有の領土である北方領土の問題が今もなお未解決であり、日露間の平和条約が締結されていないことは誠に遺憾であります。元島民の皆様が高齢とされている現実を踏まえ、一日も早く解決する必要があるとの思いを強くしています。

ロシアをめぐる国際情勢が複雑化する中、日露関係、そして、平和条約締結交渉も容易ではない状況にあります。9月に行われた日露外相会談では事実上中断していた平和条約締結交渉を再開し、また同月の国連総会における日露首脳会談では平和条約締結交渉の前進を図ることにつき、それぞれ一致しました。これを受け、10月には約1年9か月ぶりに日露次官級の平和条約締結交渉を実施したところです。11月のG20サミットの際の日露首脳会談では、北方領土問題について双方に受入れ可能な解決策の作成に向けた率直な意見交換が行われ、引き続き首脳レベルの対話を続けていくことが確認されました。

政府としては、北方四島の帰属の問題を解決し、ロシアとの平和条約を締結するよう、一層精力的に腰を据えて交渉に取り組む決意です。

政府がロシアとの交渉を強力に進めていく上で、本日の行進のように、根室管内の皆様が中心となって全国民に訴えかけることで、北方領土返還要求が日本国民の総意であることを明確に示し続けることが重要です。北方領土問題の解決に向け、引き続き力強い御支援と御協力を賜りますよう改めてお願い申し上げます、私からの挨拶とさせていただきます。

平成27年12月1日

外務大臣政務官 山田美樹